

厚生労働科学研究費補助金
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
分担研究報告書

Value-based medicine の推進に向けた循環器病の疾患管理システムの構築に関する研究

研究分担者 横田千晶 国立循環器病研究センター 脳血管リハビリテーション科 医長

研究要旨

2021年7月～2022年3月までに、急性脳梗塞発症後、直接自宅退院となった82例にePROを用いた健康関連QOLを、退院時、発症3・6ヶ月後の3点で収集した。6ヶ月まで終了したのは16例、49例が追跡中であり、中断・同意撤回は17例あった。概ね助言をしながら、ePROの取り扱いが可能であった。

A. 研究目的

急性期脳卒中発症後、自宅退院となった患者が、円滑に社会復帰するためのシステム構築に向けたePRO活用の可能性を検証する。

B. 研究方法

分担研究者は、2018年より急性脳卒中、一過性脳虚血発作(TIA)にて、回復期病院を経ずに直接自宅退院となる患者に対して、円滑な社会復帰を目指した取り組みを開始した。この取り組みの一環として、2019年より急性脳卒中、TIA後、直接自宅退院例に対して3ヶ月後のリハビリテーション外来を行い、患者の身体・精神・認知機能と健康関連QOL評価を行っている。今回、「Value-based medicine の推進に向けた循環器病の疾患管理システムの構築に関する研究」に関連し、2021年7月より、脳梗塞発症後、自宅退院例の健康関連QOLを、従来の質問用紙と併用して、ePROを用い、退院(登録)時、3ヶ月、6ヶ月での情報収集を行った。

(倫理面への配慮)

当院での倫理委員会にて「急性期脳卒中例に

対するリハビリテーション効果の客観的評価に関する研究」(M28-063-2)として承認されている。

C. 研究結果

2022年3月末の時点で脳梗塞82例に対して、本研究同意を取得した。うち4例が同意撤回、13例が中断(登録時のみ6例、3ヶ月まで7例)、6ヶ月まで終了16例、残る49例がフォローアップ中である。中断例の原因は、悪性腫瘍のための加療3例、受診遅れ(プロトコールバイオレーション)1例、連絡なし(脱落)9例であった。基本的に、見守り下での患者によるePROを用いた入力を行った。パッドに示される文字が読みにくい、次画面への操作法がわからない等は見られたが、概ね助言をしながら、ePROの取り扱いは可能であった。助言なく、取り扱えたのは就労年代(70歳未満)の患者であった。

D. 考察

ePROを用いた患者の健康関連QOL収集を行った。登録患者の追跡率は8割であった。

ePRO 使用は就労年代(70歳未満)には、助言なく入力可能な患者が見られたが、就労していない高齢者の多くは、助言を要した。ePROを用いた健康に関する自己管理が一般化するの、日常的にコンピュータやスマートフォンを利用している世代と考えられ、今後 10 年単位の時間を要する可能性がある。

E. 結論

脳卒中発症後の高齢者に対する ePRO を用いた疾患管理には見守り・助言を要する場合が多かった。

F. 健康危険情報

(総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

- Yokota C, Ohta S, Fujimoto Y; Determinants of physical activity at 90 days after acute stroke or transient ischemic attack in patients with home discharge: a pilot study. J Aging Phys Act 2021 Oct 6, 1-7(査読あり)
- Cho SG, Toyoda M, Ding M, Takamatsu J, Yokota C, Ogasawara T; Analysis of Skin Deformation Differences on the Upper Arm Between Active and Passive Movements During Elbow Flexion and

Extension. Annu Int Conf IEEE Eng Med Biol Soc 2021 Nov; 2021: 6187-6191(査読あり)

- Miura H, Yokota C; Tailored Cardiac Rehabilitation for Older Patients With Heart Failure - Will Cybernetics Be a New Treatment Option for Cardiac Rehabilitation? Circ J 2021 Dec 24:68-69 (Editorial, 査読なし)

2. 学会発表(シンポジウム)

- 横田千晶「急性脳卒中/TIA 発症後自宅退院患者に対する社会復帰に向けた「吹田フレイル予防ネット」事業のとりくみ」第 47 回日本脳卒中学会 2022 年 3 月 18 日 大阪国際会議場
- 横田千晶「軽症脳梗塞患者に対する心臓リハビリテーションの運動耐容能への効果」第 9 回日本心血管脳卒中学会 2022 年 4 月 23 日 徳島 WEB

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

本研究に関連した特許取得はなし。